

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.05.28-06.01

記事の詳細は、情報検索サービス「キジサク」でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

5月28日(月) □

■トヨタ、合併ブランドでH V

一汽・広州汽車 / 2015年投入
トヨタ自動車は、第一汽車集団と広州汽車集団との合併会社の各ブランドで、新ハイブリッド車を2015年をめどに投入する。世界最大市場の中国でH Vを拡販、現地での巻き返しを図る。(1面)



北京モーターショーに出展したコ
ンセプトH V (トヨタ自動車)

■昇降機、中国で急成長

世界最大の展示会で誇示
中国の昇降機生産は年率20%で成長、2010年には45万台に。中国エレベーター協会は、世界最大の昇降機展示会で誇示。新興企業の追い上げや、すそ野産業の広がりで劇的な構造変化が。(3面)

■ムトー精工、隣接工場を賃借

将来の増産にスペース確保
ムトー精工は、デジタルカメラや自動車向けの部品を生産する中国子会社の豊光電蘇州で、隣接する工場を賃借し

バンコク首都圏に新設する「ノンタブリ1道路チャオブラヤ川橋梁」。工事総延長は取り付け道路を含め約4300m (完成イメージ=三井住友建設が) Vで受注)



た。将来の増産に向けて新たな設備導入のスペースを事前に確保する。(8面)

■ファミマ、中国で増産

弁当・総菜 / 上海に第2工場
ファミリーマートは、中国で弁当・総菜の生産能力を増強する。上海、広州などで約860店を展開、今年末までに1000店を超える見通し。上海に第2工場などを増設、店舗拡大に備える。(20面)



広州での昇降機展示会には日本の大手も積極的に参加

5月29日(火) □

■日精樹脂、中国で生産

中型の射出成形機 / スマホ向け
日精樹脂工業は、中国で中型の射出成形機を生産を6月に始める。スマートフォン、タブレット端末、医療機器向け需要増に対応。また、中国生産機種の実地調達率を65%に10%高める。(6面)

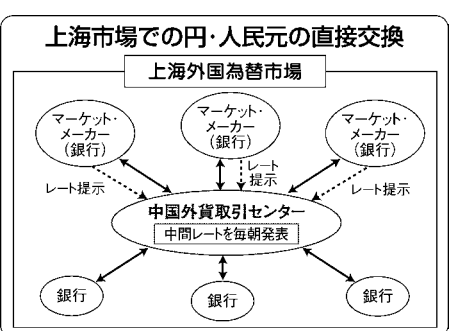
5月30日(水) □

■円=人民元「直接取引」

為替リスク回避 / 取引コスト低減
円と中国人民元の直接取引が6月1日から始まる。ドルを介在しないため取引コストが低減。ドルの為替変動リスクも回避。ただ人民元が全面開放されて自由に売買できるわけではない。(2面)

■アイシンAW、上海に統括会社

戦略立案を移譲 / 現地ニーズに即応
アイシン・エイ・ダブリュは、上海市に地域統括会社を7月に設立する。A T



工場などを管理統括する。顧客対応や戦略立案などの権限の一部を移譲し、現地ニーズや事情に即応する。(6面)

■蘇州の子会社に出資

オイル工業 / 設備投資資金
オイル工業は、連結子会社の自潤軸承(蘇州)に出資する。今後の設備投資資金の一部にあてる。増資後の資本金がオイル工業の資本金の10分の1以上となるため、特定子会社となる。(6面)

■紡績系巻き上げ機、中国投入

村田機械 / 低コスト自動化対応
村田機械は、新型の紡績系自動巻き上げ(ワインダー)機を中国市場へ投入する。紡績工場の低コスト自動化需要に応える精紡系の簡易型自動供給装置タイプを完成。加賀工場で生産。(7面)

■中国製射出成形機サービス会社

野村貿易が設立
野村貿易は、中国・海天国際の射出成形機のアフターサービス会社を設立した。日本で販売した装置が対象。国内で中国成形機への品質不安は根強く、サービス機能を強化する。(7面)

■三井化学、上海にE P T工場

シノバックと合併 / 年産7万5000トン
三井化学は、中国石油大手・シノバックと、自動車部品や電線ケーブルに使う

E P Tを製造する合併会社、上海中石化三井弹性体を設立した。2014年に年産7万5000トンの製造設備を稼働。(15面)

■日立化成、エンジン部品新工場

東莞拠点内 / 粉末冶金製
日立化成工業は、広東省東莞市の粉末冶金製品の製造拠点内に新工場を設置し、今秋に移転する。粉末冶金製のエンジン部品などを増産し、主に日系企業に供給する。(15面)

■昭和電工、独資で新会社

高純度ガス除害装置 / 半導体向け
昭和電工は、半導体や液晶パネルなどの製造時に使う高純度ガスの除害装置を中国で製造する100%子会社の営業を8月に始める。合併契約期間の満了により昭和電工独資で新会社を設立。(15面)

5月31日(木) □

■中国の社会保険 - 日本は困惑

外国人も義務化 / 半年たてで現場混乱
中国で働く外国人にも社会保険への加入が義務化されて半年。日本企業の困惑が続いている。具体的な納め方を定めた実施細則の策定は地方政府で足並みがそろわない。(深層断面=34面)

主要5都市の社会保険料支払い金額シミュレーション(単位: 円)			
	企業負担	個人負担	合計
北京	4,070	1,288	5,358
上海市	4,324	1,285	5,609
広州市	3,564	1,215	4,779
大連市	3,491	1,226	4,717
青島市	2,191	785	2,976

出典: ジェトロ
注: 上海市など細則が決まっていない地域は、この通りにならない可能性もある

今回は -
11日(月)は新聞休刊日ですので、「中国・アジア ダイジェスト」面の今回は18日(月)に掲載します。

■中興化成、中国工場が稼働

フッ素樹脂製の基材・製品
中興化成工業は、常熟市に設立した製造子会社を稼働した。フッ素樹脂製の基材・製品である搬送ベルト用シートや自動車向けチューブなどを扱う。日系企業向けに現地生産に切り替える。(11面)

■中国・水処理事業進出で融資

国際協力銀行 / リソナ銀行
国際協力銀行は、プラント機器メーカーのナガオカに、中国で水処理事業進出に必要な資金を貸し出す。工場建設資金約11億円のうち、国際協力銀行とリソナ銀行が3億円を融資する。(19面)

6月1日(金) □

■ウエノ「国内回帰」

ノイズフィルターコイル / 納期・品質を考慮
ウエノは、2014年をめどに主力のノイズフィルターコイルの国内生産を2倍の月約140万個に引き上げる。現在、中国では月産約550万個。全量が手巻き生産で納期や品質面に課題がある。(1面)

■中国政府系サイトが本格展開

日中ビジネスマッチング情報
中国中小企業情報網日本支部は、日中ビジネスマッチング情報発信サービスを6月から本格的に始める。中国政府系グループウェアサイトを活用する。初年度40-50社の登録を目指す。(25面)

ASIA

5月28日(月) □

■トヨタ、新興国戦略車で第2弾

100カ国で年100万台
トヨタ自動車は、新興国市場向け戦略車としてコンパクトカーの新シリーズを投入する。「エティオス」の車台を活用、2015年までに8車種を発売。100カ国で年100万台のシリーズを育てる。(6面)

■インド3割増、18万台

トヨタ / 「エティオス」35%増
トヨタ自動車は、2012年のインドでの販売台数を3割増の18万台に引き上げる。戦略小型車「エティオス」を35%増の8万台に増やす計画で、市場ニーズの強い小型車を中心に拡販する。(6面)

■インドのデザイン賞を受賞

スズキ・ヤマハ発動機
2社がインドのデザイン賞「インディアデザインマーク」を受賞した。スズキは小型乗用車「スイフト」と「ワゴンR」。ヤマハ発動機は150ccのスーパースポーツモデルバイク「YZF-R15」。(6面)



「ワゴンR」がデザイン賞を受賞(スズキ)

■日精樹脂、タイに新工場

年360台 / 東南アジア向け中型機
日精樹脂工業は、タイに射出成形機の新工場を建設する。2013年3月稼働。3年後に年産360台を目指す。工場新設の投資額は7億円。中型機を生産し、東南アジアや西アジアに供給する。(7面)

■シンガポール建機に出資

豊田通商 / 東南アジアで初参画
豊田通商は、シンガポールの建設機械レンタル・販売大手のシンベンヘビーマシナリーに26.9%出資した。約16億6000万円。豊田通商が東南アジアで建機に参画するのは初めて。(7面)

■タイ・ベトナムに全面移管

アイホン / 戸建住宅向けインターホンの生産を、豊田工場からタイとベトナムの2工場に2015年をめどに全面移管。量産品の製造コストを低減、グローバル市場で価格競争力を高める。(8面)

■東海染工、タイに移管

国内百貨店向け高級服地の染色
東海染工は、2013年春夏物から国内百貨店向け高級服地の染色加工をタイに移管する。低価格志向に対応、現地企業と日本の生地問屋と連携し、紡績から染色加工までタイで一貫生産する。(20面)

5月29日(火) □

■カンボジア・マレーシアに工場

日本電産 / HDD部品
日本電産は、子会社のタイ日本電産がカンボジアとマレーシアにHDDの重要部品であるベアスプレートの製造子会社を設立した。タイと中国の3工場と連携し、生産リスクの分散を図る。(3面)

■大川精機、タイ第2工場稼働

自動車部品 / 年1600万個
大川精機工業は、タイで自動車部品の第2工場を稼働させた。ブレーキホース継手金具やスタックボルトなどの生産能力は第1、第2工場合わせて2014年3月までに2倍の年1600万個に。(5面)

■三菱重工、地域統括制を導入

汎用機・特殊車両 / 意思決定を迅速化
三菱重工工業は、ターボチャージャーや中大型エンジンなどの汎用機・特殊車両部門で地域統括制度を導入。米、欧、アジア、中国で販売エリアを分け統括会社を設ける。意思決定を迅速化。(6面)

■大松精機、インドネシア新工場

建機部品加工 / 月100-200トン
大松精機は、インドネシアに新工場を建設、9月1日に稼働する。現地での産業機械や建設機械向け金属加工部品の切断加工で、受注増に対応する。加工能力は月100-200トンを見込む。(7面)

■三井住友建設、バンコクに橋梁

4300m / 100億円
三井住友建設は、タイ政府からバンコク首都圏の「ノンタブリ1道路チャオブラヤ川橋梁」の建設工事を受注、着工した。工事総延長は約4300m。工期は2年半。JV請負金額は約100億円。(14面)

■ベトナムでTシャツに印刷事業

NSK / スポーツ向け
エヌエスケーエコーマークは、ベトナムで直接Tシャツなどの布地にインクを

塗り込むシルクスクリーンプリント事業に参入する。現地のスポーツアパレル業界からの加工需要に応える。(15面)

■韓国製のLED灯を発売

GC&C / 5種類
GC&Cは、韓国製のLED灯「COLED」を発売。電源が外側にあるため、水気の多い場所でも設置や湿気対策が容易で、消費電力11ワットから18、23、25、41ワットの合計5種。(23面)

5月30日(水) □

■ANA、貨物を増便

1機追加 / アジアに新路線
全日本空輸は、貨物便のネットワークの拡充と収益性の向上を進めるため、貨物機を2013年度までに1機増やして10機体制とし、アジアで1路線を新設する方針。既存の貨物路線も増便。(3面)

■東証、ミャンマー中央銀と調印

ミャンマーの証券取引所設置
東京証券取引所と大和総研は、ミャンマーの証券取引所の設置や資本市場の育成を支援することで、ミャンマー中央銀行と覚書を締結した。東証の斉藤博社長は「日本のノウハウを提供する」(3面)



■東芝、韓国ユニスを傘下に

筆頭株主 / 風力発電を強化
東芝は、風力発電機器の韓国ユニスンに34%出資、傘下に収める。出資総額約62億円。筆頭株主に、ユニスンのギアを使わない発電機技術と、東芝の流体解析の要素技術を組み合わせる。(7面)

■サタケ、インドネシアで受注

大型精密設備の全工程
サタケは、インドネシアの精密加工工場・パディ・インドネシアから大型精密設備を受注。能力は乾燥ラインが1日500トン、もみ貯蔵が同1万6000トン、もみすり・精米ラインが毎時15トン。(9面)

■リコー、ムンバイに現法

熱転写リボン・感熱紙 / 販売・加工
リコーは、インドのムンバイにパーコ

ード用感熱紙と熱転写リボンを手がけるサーマル事業の現地法人を設立する。熱転写リボンと感熱紙の市場調査や販売と最終製品を作るスリット加工。(12面)

■インドネシアガス田、商業生産

石油資源開発 / 日産3億立方メートル
石油資源開発は、三菱商事と25%ずつ出資するインドネシアの天然ガス田「テラン・ガス田」で商業生産を始めた。ピーク時で日産3億立方メートル(原油換算で日量約5万バレル)を生産。(17面)

■ラオスの電力開発支援を受託

中部電力・Jパワー
中部電力は、Jパワーと共同でラオスの電力行政を管轄する政府機関や電力公社のガバナンス機能向上のための技術支援を、国際協力機構から受託。電力開発計画の課題分析や改善提案。(17面)

■荷役シミュレーターを新設

商船三井 / フィリピン
商船三井は、フィリピンの船員訓練施設にダブルバルタンカー荷役シミュレーターを新設。荷役コンソール、配管図パネルを持ち、実船に近い臨場感のある荷役シミュレーションができる。(18面)

■野田テック、マレーシア新工場

清掃装置部品 / 7月稼働
野田テックは、マレーシアのクアラリンブルム市内に新工場を7月に稼働する。ベルトコンベヤー清掃装置向け部品を生産し、年内めどにベルトクリーナーの組み立ても手がける。(34面)

5月31日(木) □

■セイコー、タイに2工場

HDD・カメラ部品 / 洪水被害で新設
セイコーHDDは、タイにHDD部品、カメラシャッター部品の2工場を建設する。大洪水で既存2工場は部分的な操業にとどまる。全面復旧には新工場が必要だと判断。110億円投資。(1面)

■新興国でトヨタ版SGS

現地工場 / 経済性評価後
トヨタ自動車は、スマートグリッド実証プロのトヨタ版SGSを経営性を評価できた段階で、新興国の現地工場への導入を検討する。中国やインドなどの工場が候補。(2面)

■海外で中小の知財守る

ジェトロ / 商標調査拡充
経済産業省は、中小企業の海外での知的財産対策を強化する。ジェトロは中小に代わって海外の商標を調べる事業で、2012年度は約3倍の100社に。中国、香港、タイなど6カ国・地域。(2面)

■榛葉鉄工所、タイを移転・拡充

2輪車マフラー / 3倍60万台分
榛葉鉄工所は、12月をめどにタイの2輪車用マフラーの年産能力を約3倍の60万台分にする。アマタコン工業団地に新工場を建設し、現工場の生産を全面移管する。(5面)

■海天国際、タイにショールーム

射出成形機 / 日本語で対応
中国・海天国際HDは、タイのチョンブリ県に射出成形機のショールームを開設した。タイ機械商社・SPインターマッハが運営、野村貿易が日系顧客への販売、保守。日本語で対応する。(7面)

■日立、マレーシア社を買収

金融機関向け情報システム
日立製作所は、マレーシアで金融機関向け情報システムの販売を手がけるイービーワークスを連結子会社化した。買付け総額は約46億円。現地に進出する日本企業に事業を拡大する。(9面)

■マレーシアの合金鉄プロに出資

日本電工など3社
日本電工は、神鋼商事、中央電気工業と3社でマレーシアの合金鉄生産プロジェクトに出資する。中国・アジアミネラルズミッドの工場建設に3社で乗り入れ、製品を国内外で販売。(11面)

■丸紅のインド事業に88億円融資

国際協力銀行 / みずほコーポレーション
国際協力銀行は、丸紅などがインドに設立した自動車タイヤ用ゴムメーカーに、生産設備導入資金を貸し出す。みずほコーポレート銀行との協調。総額1億1100万円(約88億8000万円)。(19面)

■カンボジアに事務所

日本興亜損保 / 日系企業向け
日本興亜損害保険は、6月からカンボジアにノンベン駐在員事務所を開設する。経済成長が進むアジア周辺国と合わせ、進出が相次ぐ日系企業向けの保険サービスを強化する。(19面)

6月1日(金) □

■田辺工業、タイで省力化機械

自動車関連 / 最低賃金高騰に対応
田辺工業は、タイで自動車関連などの省力化・自動化機械の生産を2013年初操業。最低賃金が40%引き上げられ、省力化・自動化ニーズが急速に高まると判断。既存工場の敷地に新工場棟。(7面)

■上村工業、インドネシア子会社

ASEAN向け / メッキ薬品販売
上村工業は、インドネシアに子会社「ウエムラインドネシア」を設立する。

西ジャワ州カラワン県に10月30日に。ASEAN向けにメッキ薬品を販売するほか、メッキ加工も請け負う。(10面)

■アジアの金融機関向けファンド

SBI / オランダ公庫と設立
SBIホールディングスは、オランダ開発金融公庫とアジアの金融機関などを投資対象とするファンドを共同設立した。規模は最終的には8000万ドル(約63億円)まで拡大する予定。(15面)

ひと

安全第

「スムーズな立ち上げと安全第を心がけた」と、日野自動車常務役員兼古河工場長の皆川誠さん。海外組み立て用部品の梱包工場が5月7日に稼働。タイなどに1日約120-130台分を出荷する。「海外を中心に販売を増やす体制の基盤にしたい」と意気込む。(29日=5面)

土着化が強い

「1人1000万円かかる」と東海染工社長の八代芳明さん。営業の全ての新入社員を1年間、タイなどの子会社に派遣する。「営業職の大半は英語と現地語が話せる。土着化が強い」。タイやインドネシアでは日系他社が行かない街の繊維問屋もきめ細かく訪問する。(30日=18面)

一段高く

タイ洪水被害は「みんなの予想をはるかに上回った。とにかく参った」と、困り顔は川澄化学工業社長の川野幸博さん。血液バッグを生産する工場が洪水で停止し、売り上げを落とした。「新設備は2階に置く。タイ政府の対策も進んでいて心配ない」と笑う。(31日=14面)

日本を丸ごと再現

「ベトナムにジャパンエリアを作りたい」とエヌエスケーエコーマーク社長の西牧寛次さん。衣料品向け転写マークを手がける。現地法人を置くベトナムに日本企業を誘致し、「企画から生産、物流まで日本のモノづくりを丸ごと再現する」と構想を練る。(31日=17面)

mono-ch企業チャンネル

ものづくりビジネスに関するお役立ちコンテンツを集めた日刊工業新聞社が運営する情報サイトです。

特集チャンネル

読み物チャンネル

教育イベントチャンネル

専門・技術チャンネル

地域チャンネル